



# 入出庫管理

製品などの入出庫数、在庫数を管理するためのテンプレートです。

製品などの情報を登録し、入出庫担当者が数量を登録することで在庫状況を自動集計できます。

## 利用の流れ

- ① 担当者(**user1ユーザー**)は[入出庫管理]データポケットに品名など、在庫数以外の情報を入力して保存します。最初の在庫数は、[入出庫明細]データポケットで[入庫/出庫選択]から[入庫]を選択して数量を入力します。
  - ② 入出庫を使用する際に、[入出庫管理]データポケットで数量を入力して保存します。登録時にPlatioが自動的に集計用の数量を登録します。必要に応じて、登録内容をデータビューアーでCSVまたはExcel形式でエクスポートして参照します。
- [入出庫管理]データポケットでは入出庫の残数量が自動で**集計**されて表示確認できます。



## データポケット

名前	種類	利用するユーザー
入出庫管理	主	user1
入出庫明細	主	user1

## ユーザー/プロフィール

名前	管理者	プロフィール	プロフィールで利用できるデータポケット
user1		デフォルト	入出庫管理、入出庫明細

## 【テンプレートの特長キーワード】

集計 レコード選択 計算・Platio式 一覧シーンの表示フォーマット 初期値

## ミニアプリ概要

### ◆ 入在庫管理データポケット [主]

製品などの情報を入力して保存します。入在庫の残数量が自動で**集計**されて表示確認できます。

フィールド	型: [プロパティ]別データポケット参照先	[プロパティ] 同データポケット参照先
品名	テキスト	
写真	画像(小)	
在庫数	集計: [タイプ]合計 [生成元データポケット] 入在庫明細 [生成元の主キー]品名 [生成元の値]集計用 [主キー]品名	
保管場所	テキスト	

### ◆ 入在庫明細データポケット [主]

入在庫を使用する際に、数量を入力して保存します。

フィールド	型: [プロパティ]別データポケット参照先	[プロパティ] 同データポケット参照先
入在庫日	日付	
担当者	ユーザー	[初期値] 入力時のユーザーを自動 で設定する
品名	レコード選択 選択元データポケット:入在庫管理 選択元フィールド:品名	
入庫/出庫選択	テキスト選択	[選択値] 入庫 出庫
数量	数値	
備考	複数行テキスト	
集計用	数値計算	[値] 入庫/出庫選択が”出庫”の 場合、-1 * 数量の値 それ以外の場合、数量の 値

※ レコードの登録／編集時、「集計用」フィールドはミニアプリ上には表示されません。

← レコード選択で他データポケットのフィールド参照

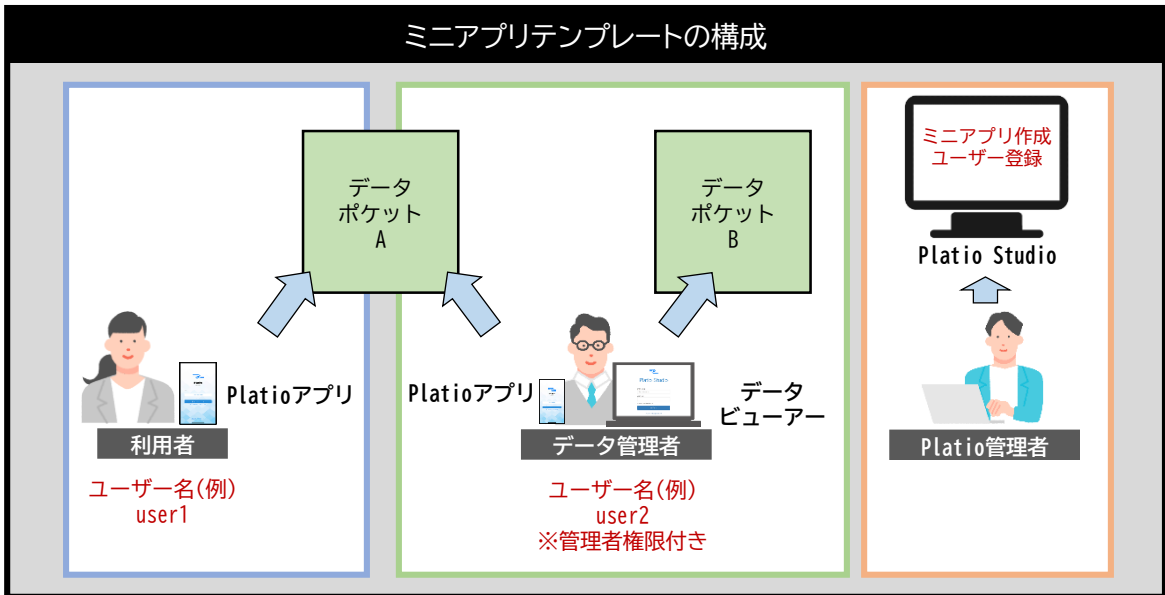
# 操作手順

## 利用の流れ

- ① [事前準備] **Platio管理者**が、Platio Studioにアクセスしてミニアプリを作成してデータポケットを使用するユーザーアカウントを登録します。
- ② **データ管理者**は、PCのWebブラウザからデータビューアーにアクセスしてデータポケットのレコードを管理できます。
- ③ **利用者**は、Platioアプリからミニアプリにログインして データポケットにデータを作成・編集します。

ユーザーは、データビューアーとPlatioアプリへログインできます。(データビューアーへのログインを許可しないようにすることもできます。)

## ミニアプリテンプレートの構成





## Platio Studioでミニアプリを配布

ここでは、「勤怠連絡」テンプレートを例にミニアプリの作成からPlatioアプリユーザーへの配布までをご説明します。

Platioの無料トライアルの申込み、利用の流れについては「[スタートアップガイド](#)」をお読みください。

Platio管理者が、Platio Studioでミニアプリを作成します。



Platio Studio

### ● Platio Studioへログイン

<https://studio.plat.io/>

ログイン後の画面で、右上の「ミニアプリを作成」をクリックして進めます。

※ アカウント情報はトライアル申込み時に送られてきたメールをご確認ください。

### ミニアプリの作成



### ● ミニアプリを作成

ミニアプリを作成するウィザードで、ミニアプリテンプレートを選択します。

右下の「テンプレートを選択」をクリックし、表示されたミニアプリの作成画面でミニアプリの名前を任意に編集して、ミニアプリを作成します。

### ミニアプリの作成



### ● サンプルのユーザーを追加

ユーザーをそのまま使う場合はユーザーの名前とパスワードをメモしておきます。

ここで作成するユーザーはサンプルとして動作確認に使います。モバイルアプリの動作確認の後、引き続き使うこともできますし、削除して新規にユーザーを追加することもできます。

ここでユーザーを追加すると、登録したメールアドレスに招待メールが届きます。届いたメールは保存しておいてください。なお、招待メールの送信を中止することはできません。

### ミニアプリの作成



### ● ミニアプリの作成を完了

「完了」をクリックすると、作成したミニアプリのデータポケット一覧が表示されます。

※ ミニアプリを作成・編集して利用可能な状態にすることを「配布」といいます。

これで、ミニアプリを作成・配布し、アプリユーザーの登録が完了しました。

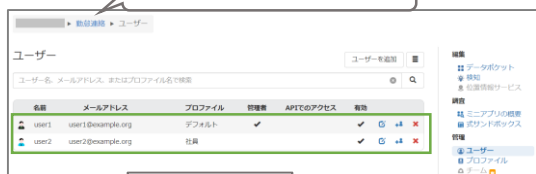


# Platio Studioでミニアプリのユーザーとデータポケットを確認



データポケット一覧

クリックしてデータポケット一覧へ



ユーザー一覧

## ● ユーザーを確認

データポケット一覧で右メニューの「ユーザー」をクリックしてユーザーを確認します。

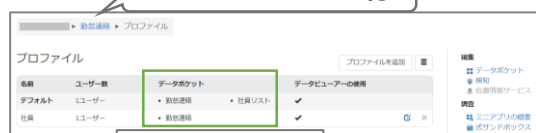
端末のPlatioアプリへログインするユーザーの一覧です。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。



データポケット一覧

クリックしてデータポケット一覧へ



プロフィール一覧

## ● プロファイルを確認

「プロフィール」をクリックしてプロフィールを確認します。

各プロフィールが設定されたユーザーが利用可能なデータポケットを確認できます。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。



クリックしてデータポケット編集画面へ



クリックしてデータポケット一覧へ

フィールド

シーン

## ● データポケットを確認

データポケット名をクリックして、データポケットのレコード内容(各フィールド)を確認します。

上部で、データポケットの各フィールドを確認します。

下部で、Platioアプリで表示されるシーン(画面)をプレビューでき、シーンの各種設定を行います。

以上で、ミニアプリの確認は完了です。

次は、データビューアーへログインする手順を説明します。



## データビューアーへのログインを確認

データビューアーは、データポケットのレコード管理をPCのWebブラウザから行うツールです。

データビューアーへは、主に管理者のユーザーでログインします。

### 【Platio Studio】



Platio Studioの「データビューアー」のリンクからミニアプリのデータビューアーへアクセスし、ログイン画面からログインします。

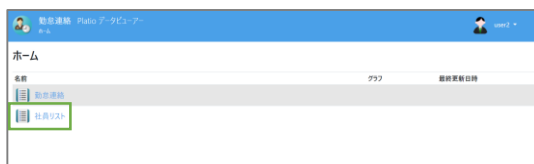
PCのメールソフトで招待メールを受信して、本文のリンクからもアクセスできます。

### 【データビューアー】



ブラウザの新しいタブにデータビューアーのログイン画面が表示されます。ユーザー情報を入力してログインします。

※ Platio Studioユーザーではなく、Platioアプリのユーザーでログインします。



データポケット一覧でデータポケット名をクリックします。



データポケットのレコード一覧画面が表示されます。右上の「作成」または「インポート」からデータを登録できます。

※ インポートではあらかじめCSVの形式でファイルから登録することができます。



「インポート」をクリックして表示されたレコードのインポート画面で、インポートできるCSVの形式が確認できます。

以上で、データビューアーの確認は完了です。

次は、Platioアプリを使う手順を説明します。



## サンプルユーザーでアプリを使ってみましょう

利用する端末に**Platioアプリ**をインストールしてください。  
インストールについては「スタートアップガイド」をお読みください。  
<https://plat.io/ja/support/guide>

サンプルユーザーでPlatioアプリを使ってみましょう。  
ユーザー情報はPlatio Studioのメニュー「ユーザー」で確認できます。



メール画面

ユーザーを追加したときに指定したメールアドレスに招待メールが送信されています。  
届いた招待メールの本文にあるミニアプリのQRコードを**Platioアプリ**で読み取ります。

端末のPlatioアプリを起動して  
「QRコードをスキャン」をタップしてQRコードを読み取ります。

または、以下のように**Platio Studio**のサイドメニューのアプリリンクからもQRコードを表示できます。



メール画面

起動

リンクをタップ



Platioアプリ

**Platioアプリ**と同じ端末でメールを表示した場合、ミニアプリ名のリンクをタップするとPlatioアプリが起動してミニアプリのログイン画面が表示されます。

**Platioアプリ**でミニアプリのログイン画面が表示されます。

ユーザー情報を入力してログインします。

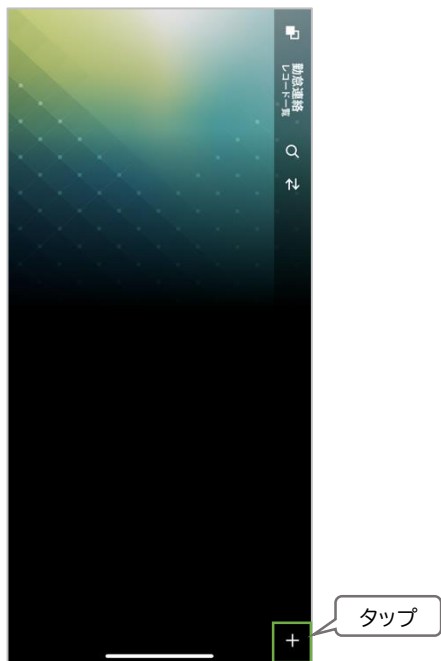


## Platioアプリ <各種シーンと操作>

Platioアプリにログインすると、Platio Studioで指定された最初のシーンが表示されます。  
表示されるシーンは、ミニアプリごとに異なりますが、入力シーンまたは一覧シーンが表示されます。

### ● 一覧シーン

何も表示されない場合は、登録されたレコードが無い状態です。  
レコードを入力するには、右下の「+」をタップします。



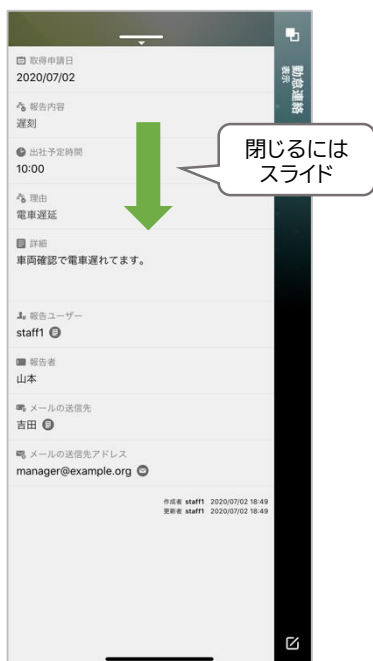
### ● 入力シーン

データを入力する各フィールドが表示されています。  
入力したデータを保存するには、右下の「✓」をタップします。



### ● シーンを閉じる(前に戻る)

シーンを閉じるには、タップしながら上から下にスライドします。



### ● 入力をキャンセルする

シーンを閉じるには、上から下にスライドして表示された「×」をタップします。







## Platioアプリ <一覧シーンで検索・並び替え>



### ● 一覧から検索

検索アイコンをタップします。  
検索ワードを入力するか、またはタップして表示される定義された検索条件をタップすると、検索した結果の項目が表示されます。

※ Platio Studioで検索可能と設定したフィールドが検索できます。



### ● 一覧を並び替え(ソート)

ソートアイコンをタップします。

並び替えできる項目が表示されます。昇順・降順のアイコンをタップすると、並び替えて表示されます。

※ Platio Studioでソート可能と設定したフィールドが検索できます。

## データポケットやミニアプリの設定を変更したい

データポケットにフィールドを追加したりPlatioアプリでの見た目を変更したり、ミニアプリに機能を追加したり、ミニアプリを編集することができます。

初めてPlatioを操作するときは「[Platioスタートアップガイド](#)」をお読みください。

### ◆ Platioスタートアップガイド

はじめてPlatioをお使いになる方向けの、Platioの概要とPlatioを使いながら全体の流れを説明するガイドです。

[Platioヘルプセンター]の「はじめての方へ」をクリックして「①Platioって?」からご覧いただけます。

<https://help.plat.io/hc/ja>

### ◆ ノーコードツール学習サイト「NoCode Gate」

Platioの操作を動画で学べます。

<https://nocodegate.asteria.com/>

Platioに関するお問い合わせ:[お客様ログイン]からお問合せフォームにてお問合せください。

<https://asteria.com/mng/login>

Platioのお役立ち情報、ご利用ガイド、よくあるご質問:[Platioヘルプセンター]

<https://help.plat.io/hc/ja>

Platioに関する情報(事例、リリース情報など):[製品サイト]

<https://plat.io>